



図1 PLC ステータス画面

現象

【対象製品】

□FT1A Lite/Pro 24/40/48 点タイプ Ver1.11~Ver2.24

(Automation Organizer Ver.2.00~Ver.3.15.1/ WindLDR Ver.7.00~Ver8.11.0)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

□FT1A Lite/Pro 24/40/48 点タイプ

FT1A-*24*、FT1A-*40*、FT1A-*48*

【現象】

WindLDR の機種設定でプログラミング言語「FBD」を選択し、通信ポート設定で ModbusRTU マスター、もしくは、コネクション設定で Modbus TCP クライアントを指定し、そのリクエストテーブルで通信実行デバイスを「使用」にしている場合(図 2、3 参照)、通信実行デバイスが OFF であってもリクエストが送信される場合があります。

Modbus RTU マスター リクエスト テーブル (ポート2)

通信実行デバイス: 使用 M0000 未使用

エラー ステータス: 使用 D0000 未使用

同一 DR をすべての通信リクエストに使用する
 通信に失敗したときのみエラーステータスを更新する

リクエスト番号	機能コード	マスターデバイスアドレス	データサイズ	ワード/ビット	スレープ番号 (0 ~ 247)	Modbus スレープアドレス	通信実行デバイス	エラー ステータス
1	01コイルの状態読み出し	M1000	1	ビット	1	000001	M0000	D0000
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								

通信設定(S) インポート(I) エクスポート(E) スレープアドレスに16進数を用いる(U) OK(O) キャンセル(C)

図 2 ModbusRTU マスター通信設定

Modbus TCP クライアント

通信実行デバイス: 使用 M0000 未使用

エラー ステータス: 使用 D0000 未使用

同一 DR をすべての通信リクエストに使用する
 通信に失敗したときのみエラーステータスを更新する

リクエスト番号	機能コード	マスターデバイスアドレス	データサイズ	ワード/ビット	リモートホスト番号	スレープ番号 (1 ~ 247)	Modbus スレープアドレス	通信実行デバイス	エラー ステータス
1	01コイルの状態読み出し	M1000	1	ビット	リモートホストを選択...	1	000001	M0000	D0000
2						1			
3						1			
4						1			
5						1			
6						1			
7						1			
8						1			
9						1			

通信設定(S) インポート(I) エクスポート(E) スレープアドレスに16進数を用いる(U) OK(O) キャンセル(C)

図 3 ModbusTCP クライアント通信設定

【暫定的な回避方法】

通信実行デバイスを「未使用」に変更、もしくは、プログラミング言語を「ラダー」に変更してください。

以上